

平成28年度 一般会計 予算内示 事業別概要書 (当初)

款	4. 衛生費	大事業	8. 訪問歯科事業
項	1. 保健衛生費	中事業	
目	2. 保健衛生費	担当所属	健康増進課

予算種別	補助/単独	事業区分	前年度 当初予算額	増減額	前々年度 決算額	実施計画	第1章	思いやりと希望にみちたまちづくり	5年間計画額	
経常	単独	計画	0	0	0		基本施策2	市民の健康づくりの推進	平成28年度	-
									平成29年度	-
									平成30年度	-
							施策5	救急医療体制を維持・充実します	平成31年度	-
								平成32年度	-	

本年度事業費	(歳入)	(歳出)
本年度当初要求額		
本年度当初査定額		1,678

財源内訳								一般財源
本年度当初要求額								0
本年度当初査定額								1,678

<事業に関する説明>

<p>(事業の概要) 概ね65歳以上の在宅療養者等で歯科医院への通院が困難な市民に対し、歯科医師等が訪問し、入れ歯・むし歯等に対する応急処置を実施します。</p>	<p>(事業の目的) 在宅療養者等で歯科医院への通院が困難な方に対し、訪問による歯科診療及び歯科保健指導を実施し、生活の質の維持・向上を図ります。</p>	<p>(事業の効果) 在宅療養者等にとって、自分の歯(義歯含む)で食事を摂取することは、生活の質の維持・向上させるために重要な要因です。</p>
<p>(事業実施上の問題点) 少子高齢化や社会環境の変化に伴い、市民の医療に対するニーズは、多様化・高度化しています。医療機関の相互連携体制の構築や市内医療機関などの地域医療の充実を図る必要があります。</p>	<p>(前年度からの見直し点) 事業を見直し、市と印旛郡市歯科医師会で協定を結び、協力歯科医院が実施主体となる訪問歯科診療事業に変更します。診療費は、協力歯科医院が保険請求することとし、市は協力歯科医師へ報酬を支払わないこととします。市民へのサービスは維持し、予算及び事務量を削減します。</p>	<p>(見積についての特記事項) 治療後の調査によると、患者の100%が主訴が解消し訪問歯科診療に満足しているとの結果でした。高齢化が進展し、対象者が増加傾向の中で歯科を取り巻く社会状況に注目する必要があります。</p>

節	本年度 当初査定額	前年度 当初予算額	増減額
08	40	0	40
11	40	0	40
14	29	0	29
18	1,569	0	1,569

特定財源	款	項	目	節	細節	細々節	歳入特定財源科目名称	本年度 要求額	本年度 査定額	前年度 予算額	増減額
							差引一般財源	0	1,678	0	1,678